

記者発表（資料配布）				
月 日 (曜日)	担当課名	TEL	発表者名 (担当係長名)	その他の 配布先
4月2日 (土) 14:00	関西広域連合広域防災局 広域企画課(兵庫県) (企画県民部防災企画局防 災計画課広域企画室)	078-362-9818 内線：3131	課長 石田勝則 (課長補佐小堀一幸)	関西広域連合 構成府県

平成 23 年東北地方太平洋沖地震における関西広域連合構成府県の
被災地支援にかかる各府県の記者発表資料について
(対象：4月1日(金) 0:00 から 24:00)

標記のことについて、別添のとおりお知らせします。

【関西広域連合（兵庫県）】

○ 関西広域連合・兵庫県 宮城県北部沿岸市町支援隊（第3陣）の派遣について

標記のことについて、下記のとおり職員を派遣します。

なお、被災3市町の共通の課題として、職員が避難所対策などに追われ本来の市町業務機能の回復が喫緊の課題であることから、今回より全国市長会・全国町村会などの応援が本格化するまでの間、兵庫県下市町職員による応援を強化します。

記

1 支援隊の出発について

出発日時 4月2日(土) 午後3時
出発場所 県庁3号館北側
派遣者 41名(気仙沼市20名、石巻市10名、南三陸町11名)
車 両 大型バス3台
※ 前回に引き続き、徳島県職員が21名が同乗します。

2 派遣期間

平成23年4月2日(土)から4月10日(日)まで

3 派遣先

宮城県気仙沼市、石巻市、南三陸町

4 派遣者

気仙沼市支援本部 40名 統括：是川 哲 秀（（公財）兵庫県国際交流協会企画調整部長）
石巻市支援本部 31名 統括：衣笠 達 也（企業庁水道課長）
南三陸町支援本部 27名 統括：四海 達 也（企画県民部企画財政局新行政課長）
計 98名（県職員31名、市町職員52名、県市町社協職員等15名）

※ 県庁出発者以外の市町の派遣者等57名は現地合流。

○ 兵庫県ボランティアの派遣について

ひょうごボランティアプラザでは、関西広域連合・兵庫県宮城県北部沿岸市町支援本部の石巻支援本部からの要請により、4月21日（予定）の始業式に向けて石巻市内の小中高校でのボランティア支援活動を行うこととしました。

つきましては、下記内容の活動に参加いただけるボランティアの方を募集します。なお、今回は、県立舞子高校環境防災科の生徒からボランティアに参加（引率教員、生徒あわせて20名）したいとの申し出がありましたので、同行していただくことになりました。

記

- 1 派遣日 平成23年4月6日(水)～9日(土)
- 2 行き先 宮城県石巻市内の学校
(貞山小学校、山下中学校、渡波中学校、市立女子商業)
- 3 活動内容 学校再開のための支援（教室・体育館等で机・椅子・教育機材等の搬出、運動場の泥だし等）
- 4 募集人数 70名（大型バス4台を予定）※参加者数はスタッフを含め80名
- 5 募集要件 (1)県内在住、在勤の方
(2)希望者多数のため前回(3/28～3/31)参加された方は申込みできません。
(基本的に重労働となりますので、体力に自信のある方に限らせていただきます。)
- 6 受付日 平成23年4月3日(日)9:30～17:00（募集人員に達するまで）

先着順・電話受付のみ・グループでの申込みは1度に2名まで

- 7 電話番号 (078) 360-6300・6301・6302
- 8 行程等
 - ①集合時間・場所：7時30分 「神戸クリスタルタワー」1階ホール
※ 受付、ボランティア保険（300円）の加入を行います。
 - ②行程（スケジュール）

区 分	時間	項目	場 所	備 考
1 日目 (4月6日)	7:30	集合	神戸クリスタルタワー 1階ロビー	受付
	8:00	出発		
	22:00頃	到着	宿泊施設	宿泊
2 日目 (4月7日)	8:00	出発	宿泊施設	
	9:00	到着・活動	石巻市内の学校で活動	
	16:00頃	活動終了	宿泊施設へ移動	
	17:00頃	到着	宿泊施設	宿泊
3 日目 (4月8日)	8:00	出発	宿泊施設	
	9:00	到着・活動	石巻市内の学校で活動	
	16:00頃	活動終了		
	16:30頃	出発	石巻市出発神戸へ	車中泊
4 日目 (4月9日)	午前中	到着	神戸クリスタルタワー前	解散

③ 宿泊について

宿泊施設にて2泊朝食付(パンと飲み物程度)5,000円お支払いいただきます。

※ お風呂は使用可能、宿泊は大広間(足を伸ばして眠ることが可能)、バスで配布する毛布を持ち込み寝具として利用可能

9 応募にあたっての注意事項

①15～16時間バスでの往復、②バスは男女混合、③活動中のトイレ確保は困難等相当過酷な行程・活動内容となります。

なお、被災地での活動は、危険がともなうことや重労働となる場合があります。ボランティアが自分自身で安全や健康を管理することを理解したうえで、参加してください。体調が悪い方・体力に自信のない方は、お申し込みをお控えください。

また、3日間分の水、食料、作業着、軍手、肘まである厚手ビニール手袋、長靴、マスク、汚れ物を入れるゴミ袋は必ずご持参ください。(必携品等詳細はプラザHPにて)

10 その他

参加される場合の注意事項、持ち物等については、ひょうごボランティアプラザのホームページで発信しますのでご確認ください。

○ 東北地方太平洋沖地震の被災者に対する兵庫県営住宅の提供等の状況（4/1現在）について

平成23年4月1日17時30分現在の標記の状況は、下記のとおりです。

記

1 提供する県営住宅

1,200戸（うち、すぐ入居可能な住戸100戸）

※ 3月26日から、提供する県営住宅の数を600戸から1,200戸に増加

2 提供等の状況

日付	受付件数	入居決定戸数		入居辞退 戸数	提供可能 戸数
			鍵渡し 戸数		
3/17	82	-	(-)	-	600
3/18	62	24	(2)	0	576
3/19~21	19	0	(0)	0	576
3/22	20	15	(11)	5	566
3/23	6	4	(3)	3	565
3/24	7	3	(2)	2	564
3/25	2	2	(3)	0	562
3/26~27	1	0	(0)	0	1,162
3/28	3	2	(1)	0	1,160
3/29	3	2	(2)	0	1,158
3/30	2	0	(2)	0	1,158
3/31	2	1	1	0	1,157
4/1	4	2	0	0	1,155
合計	213	55	(27)	10	1,155

○ 東北地方太平洋沖地震に係る被災地からの避難者受入状況（4/1 現在）について

標記については、現段階で把握しているのは、少なくとも116世帯402名ですの
でお知らせします。

記

被災地から兵庫県内への避難者受入状況

（4月1日17時30分現在）

市町等名	受入場所	被災地住民の避難者数	
		世帯数	人数
兵庫県	兵庫県営住宅	27 世帯	107 名
神戸市	市営住宅	67 世帯	231 名
明石市	市営住宅	2 世帯	7 名
西宮市	市営住宅	8 世帯	20 名
宝塚市	市営住宅	5 世帯	11 名
高砂市	市営住宅	1 世帯	5 名
三田市	市営住宅	4 世帯	12 名
丹波市	市営住宅	2 世帯	9 名
合 計		116 世帯	402 人

【関西広域連合（滋賀県）】

○ 東北地方太平洋沖地震への対応について（第25報）

このことについて、現在の情報を提供します。

【人員および車両等の派遣】

1 関西広域連合現地連絡所職員の派遣（要望等情報収集および連絡調整）

14日～ 会津若松現地連絡所および福島現地連絡所を開設

31日時点 福島県災害対策本部 2名、 会津若松合同庁舎 2名 計4名
累計 8隊17名

31日 第9陣2名が出発

2 避難所支援職員の派遣（避難所の運営支援、被災者の滋賀県受入案内等）

22日～ 福島市内の各避難所

第1陣：あづま総合運動公園等6ヶ所（第2陣以降4ヶ所）

31日時点 第4陣：

避難所名	避難者数	派遣職員数(15名)
あづま総合運動公園	1200人	9名
自治研修センター	350人	2人
福島商業高校	176人	2人
福島東高校	140人	2人

累計 4隊61名

3 保健師等派遣（健康相談や心のケア、衛生面の支援活動等）

15日～ 仙台市内、福島市内、小野町の避難所で活動

31日～1日 福島県小野町、石川町で支援

1日時点

1チーム 5名

累計 6チーム 23名

4 医療救護班の派遣（被災地の救護所における医療救護活動）

17日～ 会津若松市内および周辺市町で活動

1日時点

1チーム5名

累計 6チーム30名

30日～1日 公立甲賀病院が福島県会津若松市内および会津坂下町の各避難所にて支援

- 5 災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣
 11日～15日 花巻、仙台、石巻、福島、つくば等搬送拠点で活動
 31日時点 活動終了
 累計 11チーム62名
- 6 心のケアチームの派遣（心身の不調をきたした避難住民に対して心の健康相談や治療など）
 4/1(予定)～ 福島市、伊達市、二本松市等で活動
 31日 県庁出発(移動日)
 累計 1チーム6名
- 7 滋賀県緊急消防援助隊の派遣（救急搬送等を実施）
 (陸上部隊)
 11日～ 福島県新地町、南相馬市、二本松市等で活動
 31日時点 17隊56名
 累計 197隊696名
 31日 第7次隊、出動なし
 (航空部隊)
 12日～28日 福島空港を拠点に上空偵察、救助活動、救急搬送を実施
 31日時点 活動終了
 累計 6隊32名
- 8 給水車の派遣（企業庁）
 14日～23日 岩手県大船渡市 給水車（2t）、作業員2名(数日毎に交代)
 31日時点 活動終了
 累計 1台5名
- 9 し尿処理支援
 20日～26日 宮城県大崎市（山形県酒田市のし尿処理プラントに搬送）
 31日時点 活動終了
 累計 支援車1台 3名
- 10 管路調査要員の派遣
 27日～ 宮城県東松島市、多賀城市内で土木技術職員による管路施設の一次調査を実施
 31日時点 累計 1班 県1名・市町3名

【物資の提供および搬送】

- 1 県備蓄物資の送付（協力団体：滋賀県トラック協会）
 14日・19日 毛布9,300枚、乾パン56,192食、アルファ化米11,100食、サバイバルフーズ7,680食、
 17日 医療用医薬品等：内服薬66品目約23,000個、注射薬6品目100本、衛生基材（血圧計、体温計等）53品目

2 陸上自衛隊等による救援物資の搬送

17日～ 市町および民間団体からの救援物資受付
 1日時点 申込み 54 件、うち輸送(予定含む) 41 件

【その他県内団体等からの支援】

- 1 (社) 滋賀県薬剤師会から薬剤師ボランティアの派遣
 19日～ 福島県福島市、郡山市、田村市・宮城県石巻市、南三陸町内に8名(累計)派遣
- 2 (社) 滋賀県看護協会から災害支援ナースの派遣
 24日～ 宮城県内に看護師6名(累計)派遣
 31日～ 岩手県内に看護師 2 名(累計)派遣
- 3 滋賀県環境事業協同組合からし尿処理収集車両等の派遣
 20日～26日 し尿収集車両等20台、作業員31名派遣
- 4 滋賀県薬業協会・滋賀県製薬工業協同組合からの一般用医薬品等の寄附
 24日～ 一般用医薬品等38品目(総合感冒薬、下剤、マスク等)約40,200個
 総額34,346千円
- 5 アークレイ(株)からの糖尿病血糖自己測定器の寄附
 30日～ グルコカード G+メーター、消毒用脱脂綿等、総額6,075千円

【避難者の受入】

■避難者の受入状況 (4月1日現在)

受け入れ可能施設		避難の相談件数	受け入れ実績		退所状況		現在の受け入れ状況	
施設数	可能人数		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
<u>369</u>	<u>4,152</u>	<u>374</u>	52	178	11	47	41	131

■避難者の入居状況 (4月1日現在)

施設	提供戸数	入居戸数
県営住宅	34戸	1戸
市町営住宅等(参考)	87戸	17戸
合計	121戸	18戸

避難者受け入れ状況総括

平成23年4月1日17:00現在

	受け入れ可能施設		避難に関する相談件数		受け入れ状況					
	施設数	可能人数	受け入れ実績		退所状況			現在の受け入れ状況		
			世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数		
昨日までの実績	365	4,076	52	178	11	47				
本日の状況	4	76	0	0	0	0				
合計	369	4,152	52	178	11	47	41	131		

災害避難者市町別受け入れ実績

平成23年4月1日17:00現在

市町名等	施設数		受け入れ実績（累計）	
	施設数	受け入れ可能人数	世帯数	人数
滋賀県	6	112	8	36
国	1	12		
個人	202	808	8	34
大津市	2	160		
彦根市	3	12		
長浜市	22	394		
草津市	5	37		
東近江市	13	651		
近江八幡市	5	42		
守山市	2	40		
栗東市	1	37		
甲賀市	2	42	4	9
野洲市	1	30	1	3
湖南市	6	135		
高島市	21	88		
米原市	17	249		
日野町	12	345	8	22
竜王町	8	213	3	7
愛荘町	20	336	4	20
豊郷町	9	190	6	21
甲良町	8	134	1	1
多賀町	3	85	9	25
合 計	369	4,152	52	178

【関西広域連合（京都府）】

○ 支援物資の受付状況について

京都府災害支援対策本部
物資等支援班 075-414-5936

3月28日（月）から3月31日（木）まで、府民の皆様から受け付けました支援物資の状況は、別紙のとおりです。

これらの支援物資につきましては、4月2日（土）から3日（日）に仕分け作業を行い、4日（月）に福島県へ発送する予定です。

発送時間など詳細につきましては、後日お知らせいたします。

府民の皆様からの支援物資の受付状況

		人数（人）	缶詰（缶）	簡易スープ等（食）	栄養調整食品（個）	缶ジュース（本）
3月28日	市町村計	340	2,481	8,183	790	4,954
	京都府	17	46	137	0	549
	合 計	357	2,527	8,320	790	5,503
3月29日	市町村計	345	3,147	7,347	660	4,194
	京都府	24	269	2,943	351	669
	合 計	369	3,416	10,290	1,011	4,863
3月30日	市町村計	410	3,387	13,517	1,080	4,684
	京都府	32	200	878	616	755
	合 計	442	3,587	14,395	1,696	5,439
3月31日	市町村計	417	8,021	15,614	1,769	10,956
	京都府	29	311	2,031	71	348
	合 計	446	8,332	17,645	1,840	11,304
総 計	市町村計	1,512	17,036	44,661	4,299	24,788
	京都府	102	826	5,989	1,038	2,321
	合 計	1,614	17,862	50,650	5,337	27,109

○ 被災者に対する緊急雇用対策について

平成23年3月31日
京都府災害支援対策本部

今回の震災に伴い、府内へ避難されて来られた被災者の皆様に対して、雇用と生活の緊急的な支援を行うため、下記のとおり、臨時の雇用機会を創出するとともに、府内での正規雇用を求める方への就業支援を実施する。

記

1 東北地方太平洋沖地震関連緊急雇用創出事業

- (1) 緊急雇用対策基金の積極的な活用により、約100名の雇用機会を創出（半年間程度）し、正規雇用等につなげる。（予算規模：2億円程度）
- (2) 京都府が実施する事業
 - ① 中小企業や農林水産事業者等が被災者を臨時的に雇用する事業への支援
 - ② 府有施設、道路・河川等の維持管理・環境整備事業や医療関係施設等における雇用
 - ③ 臨時職員の雇用 など

2 「東北地方太平洋沖地震関連就職支援等特別窓口」の開設

(1) 概要

- ① 京都ジョブパーク（ライフ&ジョブカフェ京都）の総合受付に「東北地方太平洋沖地震関連就職支援等特別窓口」を開設し、京都府へ避難してこられた被災者の希望をきめ細かく把握する。
- ② 上記1による緊急雇用も含め、緊急避難的な当面の間の臨時的な雇用から府内での正規雇用につなげるとともに、必要な場合には住宅相談などの最適な支援を行う。

(2) 開設日等

平成23年3月31日

利用時間

〔	月～金	9：00～19：00
	土	9：00～17：00

○ 東北地方太平洋沖地震等に係る「支援対策総合相談窓口」の状況

1 相談件数

4月1日 13時00分 現在

	～3月31日	4月1日	計
相談件数(件)	512件	16件	528件

(京都市への相談件数は除く)

2 公的施設への入居状況

(参考)

	受入可能住宅数	現在入居住宅数	残住宅数	受入実績						現在までに退去した人		
				～3月31日		4月1日		合計		人数	世帯数	
				人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数			
京 都 府 計	311	46	265	155	45	10	4	165人	49世帯	12人	3世帯	
内 訳	府営住宅	132	32	100	99	29	9	4	108人	33世帯	4人	1世帯
	府職員住宅等	179	14	165	56	16	1	0	57人	16世帯	8人	2世帯
	福島県	—	—	—	135	38	7	3	142人	41世帯	12人	3世帯
	宮城県	—	—	—	11	5	3	1	14人	6世帯	0人	0世帯
	茨城県	—	—	—	9	2	0	0	9人	2世帯	0人	0世帯
市町村計	271	60	211	259	65	2	1	261人	66世帯	22人	5世帯	
内 訳	京都市	200	59	141	251	63	2	1	253人	64世帯	22人	5世帯
	福島県	—	—	—	198	47	0	0	198人	47世帯	22人	5世帯
	宮城県	—	—	—	49	14	2	1	51人	15世帯	0人	0世帯
	岩手県	—	—	—	3	1	0	0	3人	1世帯	0人	0世帯
	茨城県	—	—	—	1	1	0	0	1人	1世帯	0人	0世帯
京都市以外	71	1	70	4	1	0	0	4人	1世帯	0人	0世帯	
内 訳	福島県	—	—	—	※(4)	(1)	(0)	(0)	(4人)	(1世帯)	0人	0世帯
府+市町村計	582	106	476	414	110	12	5	426人	115世帯	34人	8世帯	

※京都市以外のうち4人は、民間住宅への入居斡旋

(参考)

UR 都 市 機 構	170	2	168	5	1	5	1	10人	2世帯	0人	0世帯
国 家 公 務 員 宿 舎	24	0	24	0	0	0	0	0人	0世帯	0人	0世帯
総 合 計	776	108	668	419	111	17	6	436人	117世帯	34人	8世帯

3 民間住宅提供申出件数・戸数(電話受付)

区 分	件	戸・室	件	戸・室	件	戸・室
京 都 市 内	71	137	1	1	72	138
乙 訓 ・ 南 丹 地 域	38	39	1	0	39	39
山 城 地 域	52	58	2	3	54	61
中 丹 ・ 丹 後 地 域	53	74	3	4	56	78
計	214	308	7	8	221	316

(京都市受付分を除く)

【問い合わせ先】
 京都府災害支援対策本部(支援対策総合相談窓口)
 TEL:075-414-5930
 (府営住宅) 京都府建設交通部住宅課
 TEL:075-414-5366

○ 東北地方太平洋沖地震にかかる福島県への診療放射線技師の派遣について

平成23年4月1日

京都府災害支援対策本部

健康福祉部健康福祉総務課

075-414-4545

健康福祉部医療課

075-414-4740

福島県の要請により、下記のとおり診療放射線技師を派遣することとしましたので、お知らせします。

1 派遣人数

診療放射線技師 2名

2 派遣場所

- ・福島県内の市町村に設置されている避難所（福島市など）
- ・作業を実施する避難所については、県との調整により随時決定

3 班編制

- ・京都府各保健所に勤務する診療放射線技師2名で1チームを編成
- ・1チーム4日間現地で作業に従事

4 派遣期間

第1班：4月2日（土）京都出発、4月3日から4月6日まで現地作業

第2班：4月6日（水）京都出発、4月7日から4月10日まで現地作業

※現時点では、派遣要請は4月10日まで

※4月10日以降は県と調整中

5 業務内容

避難住民に対する放射線被ばく量測定など

【関西広域連合（大阪府）】

○ 「東北地方太平洋沖地震」にかかる大阪府の支援状況等について

府の支援状況

【新着情報】

本日、岩手県担当の大阪府と和歌山県が、関西広域連合岩手県現地事務所（大阪府・和歌山県現地支援本部）を開設しました。7名の職員（大阪府5名、和歌山県2名）を配置し、岩手県庁との調整、現地ニーズの把握等を行います。

本日、大阪府再チャレンジ支援プラザ（お金の悩み相談室）がオープンしました。

「再チャレンジ支援プラザ（お金の悩み相談室）」では、借金問題について丁寧に話を伺い、解決方法を一緒に考えます。また、必要な方には、福祉手続きの窓口や就労支援機関につながります。

なお、東北地方太平洋沖地震で被災され、大阪府に避難されてきた方々の相談もお受けします。（「5 大阪府の受入れ支援」参照）

【現在の状況】

- 1 大阪府の被災地支援（人的支援：府職員）
- 2 大阪府の被災地支援（人的支援：関係機関職員）
- 3 大阪府の被災地支援（人的支援：市町村職員）（府要請分）
- 4 大阪府の被災地支援（物的支援：府）
- 5 大阪府の受入れ支援
- 6 府民の皆様へのお知らせ

別紙のとおり

※ 次回の報道提供は、4月4日（月）14時の予定です。

なお、状況に特段の変化があれば、随時、報道提供いたします。

1 大阪府の被災地支援（人的支援：府職員）

支 援 項 目	現在の派遣人数	延べ派遣人数	派遣期間	派遣先	支 援 内 容	問い合わせ先	備 考
関西広域連合岩手県事務所（大阪府・和歌山県現地支援本部）	9人	103人日	3月14日～3月19日 5人 3月18日～3月26日 4人 3月25日～4月1日 4人 4月1日～ 5人	岩手県	物的・人的支援のための岩手県庁との調整や二一ス把握等	災害等支援対策本部総合調整班 (4115-4116)	別途、和歌山県職員も派遣
物資集積所担当要員	12人	156人日	3月19日～3月23日 6人(都整) 3月20日～3月24日 6人(都整) 3月23日～3月26日 6人(総務・議委) 3月25日～3月29日 6人(総務(税)) 3月28日～4月1日 6人(政企ほか) 3月31日～4月5日 6人(教委)	岩手県内	岩手県内の支援物資集積場での物資の搬入・搬出業務	災害等支援対策本部総合調整班 (4115-4116)	
要員搬送	0人	8人日	3月20日～3月23日 2人(総務)	岩手県内	支援要員の搬送	災害等支援対策本部総合調整班 (4115-4116)	
市町村役場支援連絡調整	2人	20人日	3月26日～3月31日 2人 3月29日～4月3日 2人	岩手県内 市町村	府内市町村職員が岩手県内の市町村役場で支援するための連絡調整員	災害等支援対策本部被災地支援班 (4113-4114)	別途、市町村職員も派遣3(市町村職員)参照
健康対策等連絡調整	0人	16人日	3月19日～3月25日 1人 3月24日～3月28日 1人 3月28日～3月31日 1人	岩手県内	健康対策等の現地連絡員	健康医療部健康医療総務課総務企画G(7624)	
健康相談活動等	0人	70人日	3月15日～3月19日 6人 3月18日～3月22日 4人 3月21日～3月25日 4人	宮城県内	避難所での健康対策・衛生対策	健康医療部保健医療室地域保健感染症課保健所G(2523)	職種：保健師、事務等(東大阪市職員含む)
健康相談活動等	12人	80人日	3月24日～3月31日 4人 3月27日～3月31日 4人 3月28日～4月1日 4人 3月30日～4月3日 4人 3月31日～4月4日 4人	岩手県内	避難所での健康対策・衛生対策	健康医療部保健医療室地域保健感染症課保健所G(2523)	職種：医師、保健師、事務等(東大阪市、高槻市職員含む)
診療放射線技師	6人	98人日	3月19日～3月23日 4人 3月21日～3月25日 3人 3月23日～3月27日 3人 3月25日～3月29日 3人 3月27日～3月31日 3人 3月29日～4月2日 3人 3月31日～4月4日 3人	福島県内	避難所での健康対策・衛生対策放射線被ばく量測定及び相談等	健康医療部保健医療室地域保健感染症課保健所G(2523)	職種：放射線技師、事務等(大阪市職員含む)
医療救護活動(府立病院機構)	6人	92人日	3月23日～3月28日 2人 3月24日～3月28日 7人 3月27日～3月31日 7人 3月30日～4月3日 6人	岩手県内	避難所での被災者に対する医療救護活動	健康医療部 保健医療室 医療対策課 病院事業G(2501・2502)	職種： (府立)病院機構 医師、看護師 (府職員)ケスカー、事務等
こころのケア	5人	70人日	3月23日～3月28日 5人 3月27日～3月31日 5人 3月30日～4月3日 5人	岩手県内	被災者に対するこころのケア	健康医療部保健医療室地域保健感染症課精神保健G(2526・2587)	職種： (府立)病院機構 医師、看護師 (府職員)ケスカー、事務等
CT検査	5人	15人日	3月30日～4月2日 5人	岩手県陸前高田市	被災地でのCT検査	健康医療部保健医療室健康づくり課がん対策グループ(2529)	職種： 大阪がん予防検診センター(大阪)がん予防検診センター 放射線技師、運転手 (府立)成人病センター (府立)成人病センター 医師、放射線技師
要員、物資搬送	0人	32人日	3月13日～3月16日 8人(総務・健医)	岩手県内	DMA T 隊員送迎及び物資搬送	健康医療部 保健医療室 医療対策課 救急・災害医療G(4531・2537)	職種：建築職 要請元：国土交通省
応急仮設住宅建設	3人	48人日	3月17日～4月30日 3人(2週交代)	岩手県内	応急仮設住宅の建設応援	住宅まちづくり部 住宅まちづくり総務課 予算G(3016)	職種：建築職 要請元：国土交通省
災害対策住宅への入居斡旋業務	3人	30人日	3月23日～4月30日 3人(2週交代)	岩手県内	災害対策住宅(公営・民間)への入居斡旋に関する業務応援	住宅まちづくり部 住宅まちづくり総務課 予算G(3016)	要請元：国土交通省
給水支援	0人	176人日	3月12日～3月16日 11人 3月14日～3月18日 11人 3月17日～3月22日 11人	宮城県栗原市、岩手県内	市内各所で給水活動実施 応援車両：給水車3台、備蓄水トラック1台など	水道部事業管理室調整課企画調整G(3231)	宮城県栗原市：3月12日～16日 岩手県内：3月17日～
下水道業務支援	6人	34人日	3月25日～4月1日 2人 3月27日～4月3日 2人 3月30日～4月6日 2人	宮城県栗原市、岩手県内	下水管路の調査	都市整備部 下水道事業課建設G(3955)	要請元：国土交通省・宮城県、池田市、豊中市職員も派遣
計		69人	1,048人日				

2 大阪府の被災地支援（人的支援：関係機関職員）

支援項目	現在の派遣人数	派遣期間	派遣先	支援内容	問い合わせ先	備考
医療援助	DMAT（災害派遣医療チーム）	0人	茨城県・岩手県・宮城県	医師、看護師等による病院支援、S C U活動（S C U＝広域搬送拠点臨時医療施設）	健康医療部 保健医療室 医療対策課 救急・災害医療G (4531・2533)	職種：医師、看護師等 要請元：厚生労働省
	仮診療所	5人	宮城県	宮城県庁前でd E R U（仮設診療所）の設置、診療	日本赤十字社大阪府支部事業課 (06-6943-0743)	職種：医師、看護師等
	医療救護班	6人	岩手県	陸中海岸青少年の家（山田町）での診療と巡回診療	同上	職種：医師、看護師等
	ドクターヘリ	0人	福島県・山形県等	重篤患者の施設間搬送	健康医療部 保健医療室 医療対策課 救急・災害医療G (4531・2533)	職種：医師、看護師等 要請元：厚生労働省
	医療従事者ボランティア	0人	全域	被災地へ医療従事者をボランティアとして派遣	健康医療部 保健医療室 医事看護課 医療施設G (2520・2535)	職種：医師、看護師等 要請元：厚生労働省
計	11人					

支援項目	現在の派遣人数	派遣先
広域緊急援助隊	約60人	岩手県・宮城県
被災地支援部隊	約30人	福島県
ヘリによる支援	5人	福島県
緊急消防援助隊	5人	岩手県釜石市
緊急消防援助隊	6人	福島県

3 大阪府の被災地支援（人的支援：市町村職員）（府要請分）

支援項目	現在の派遣人数	延べ派遣人数	派遣期間	派遣先	支援内容	問い合わせ先	備考	
岩手県内の市町村支援	0人	60人日	3月26日～3月31日 10人	岩手県大槌町	総務班、食料物資班、避難所対応班、救護班、埋火葬受付班、遺体収容班の6班に分かれて、町業務に従事	災害等支援対策本部被災地支援班(4113・4114)	豊中市①、吹田市②、茨木市①、箕面市②、岸和田市②、守口市②	
					同上	同上	同上	高槻市②、富田林市②、河内長野市②、太子町②、河南町①、千早赤阪村①
					同上	同上	同上	四條畷市①、交野市②、八尾市①、柏原市②、東大阪市①、阪南市②、島本町①
陸前高田市派遣チーム	10人	60人日	3月26日～3月31日 10人	岩手県陸前高田市	総務班、食料物資班、避難所対応班、救護班、埋火葬受付班、遺体収容班の6班に分かれて、町業務に従事	災害等支援対策本部被災地支援班(4113・4114)	摂津市②、寝屋川市②、門真市②、貝塚市②、泉佐野市②	
					同上	同上	同上	同上
					同上	同上	同上	同上
宮城県栗原市内の市町村支援	6人	16人日	3月27日～4月3日 2人 4月1日～4月8日 4人	宮城県栗原市周辺	下水道業務の調査	都市整備部 下水道室事業課建設G(3955)	池田市② 豊中市④	
計	26人	216人日						

4 大阪府の被災地支援（物的支援：府）

支 援 内 容	支 援 先	問 い 合 わ せ 先	備 考	
3月13日：アルファ化米 30,000食 3月14日：即席麺 20,000食 3月15日：即席麺 15,000食 3月19日：即席麺 2,166食 3月23日：アルファ化米 45,400食 アルファ化米（お粥） 1,700食 乾パン・クワッカレー 9,336箱 チキンラーメン 1,318個 シチュウ（850g） 33箱 粉ミルク（量不明） 201箱 粉ミルク（13g×10袋） 324箱 粉ミルク化米 3,800食 3月24日：アルファ化米 11,400食 乾パン・クワッカレー 11,400食 3月25日：アルファ化米 5,300食 アルファ化米（お粥） 750食 高齢者食（お粥） 50食 パン 8,000食 粉ミルク（320g） 30箱	岩手県 山形県	災害等支援対策本部被災地 支援班(4113-4114)		
3月13日：災害用備蓄水500ml*888本 災害用備蓄水500ml*10,000本 3月14日：災害用備蓄水500ml*24,000本 3月15日：災害用備蓄水500ml*24,000本 災害用備蓄水500ml*10,000本 3月17日：非常用飲料給水袋 1,000袋 3月19日：災害用備蓄水500ml*20,000本 3月20日：災害用備蓄水500ml*54,000本 3月21日：災害用備蓄水500ml*24,000本 3月22日：災害用備蓄水500ml*16,000本 3月23日：災害用備蓄水500ml*13,000本 3月12日：災害用備蓄水500ml*4,000本 非常用飲料給水袋4,000枚 3月14日：災害用備蓄水500ml*3,000本 非常用飲料給水袋7,000枚	岩手県 宮城県 栗原市			
3月15日：大人男性用下着 L*10箱,LL*2箱 3月23日：肌着 5,529枚 作業服 560着 3月25日：肌着 100着	岩手県 山形県			
3月14日：毛布 3,000枚 3月15日：毛布 1,320枚 3月19日：毛布 699枚 3月15日：毛布 10,000枚	岩手県 宮城県			
3月23日 抗インフルエンザウイルス薬（タミ フル・リレンザ）	全域			
3月26日 避難所用日常医薬品 200個	岩手県			別途1,000個確保済み 順次発送予定
食料品				
飲料水等				
衣料品				
寝具				
医薬品				

	<p>3月14日：紙おむつ 10,000枚 生理用品 20,000枚 3月17日：納体袋 2,300枚 3月18日：マスク 50万枚 3月19日：マスク 22万枚 紙おむつ 11,455枚 生理用品 9,900枚 消毒液 250本 カイロ 12,000個 3月22日：ポーション 1,080個 ポリタンク 1,000個 3月23日：日用品セット 1,500セット 3月24日：ゴミ袋 12,500枚 3月25日：雨衣 100着</p>	<p>岩手県</p>	
<p>その他の物品</p>	<p>3月23日：タオル 7,541枚 哺乳瓶 60本 紙おむつ(子供) 23,599枚 紙おむつ(大人) 4,958枚 紙おむつ(不明) 3,000枚 生理用品 59,283枚 簡易トイレ 53基 子イッシユ 692箱 防護服 500着 マスク 630,369枚 ブルーシート 2,100枚 断熱シート 4,327枚 ゴミ袋 2,100枚 消毒液 717本 軍手 918組 排泄物収納袋 5,000袋 懐中電灯 525個 日用品セット 74セット 固形燃料 1,000個 トイレットペーパー 13,665個 凝固式トイレ 20,100個 凝剤トイレ 2,000個 薬剤トイレ 17,240枚 3月24日：哺乳瓶 114本 紙おむつ(子供) 1,656枚 紙おむつ(不明) 300枚 生理用品 28,952枚 防護服 500着 マスク 388,500枚 ゴミ袋 2,400枚 消毒液 1,163本 軍手 2,000組 ろうそく 2,658本 懐中電灯 288個 日用品セット 3,196セット メ</p>	<p>山形県</p>	<p>災害等支援対策本部被災地 支援班(4113-4114)</p>
<p>その他の物品</p>	<p>3月25日：タオル 3,000枚 哺乳瓶 30本 紙おむつ(大人) 1,764枚 生理用品 65,554枚 簡易トイレ 25基 マスク 55,000枚 ビニールシート 400枚 ゴミ袋 256,000枚 消毒液 1,000本 ストリート 25張 固形式トイレ 260基 寝袋 1,068袋</p>	<p>山形県</p>	<p>災害等支援対策本部被災地 支援班(4113-4114)</p>

5 大阪府の受入れ支援

一時避難	支援内容		対象者	箇所数	現在の受入者数	延べ受入者数	問い合わせ先	備考
	一時避難所の設置	市町村の一時避難所の設置						
	大阪府内に避難してこられた被災者の方々に公営住宅等に入居するまでの間など、一時的に避難生活を送っていただく	被災された人工透析患者の方々を受け入れ、医療機関と連携や医療サポートなど生活支援を行う	一時的な入居を希望する被災者等	1か所(府庁新別館南館10階)	1人	23人	災害等支援対策本部被災者受入班(4125-4126)	
			被災された現地で必要な医療を受けることが困難な人工透析患者及びその家族	1か所(大阪市・インテックス大阪)	0人	0人	大阪市震災支援対策室(06-6208-9807)	

住宅	支援内容	対象者	受入数			入居決定戸数	入居戸数	問い合わせ先	備考
			当面	最大	最大				
住宅	府営住宅での受入れ ※府営住宅の入居に関する相談「府民お問合せセンター」(#8001または 06-6910-8001)	被災者の方(福島原子力発電所の事故に伴い避難指示を講じられた方を含む)	450戸	2,000戸	49戸	38戸	住宅まちづくり部 住宅経営室経営管理課 支援チーム(6307)		
	府住宅供給公社賃貸住宅での受入れ	同上	25戸	100戸	0戸	0戸	住宅まちづくり部 住宅経営室経営管理課 支援チーム(6307)		
	UR住宅での受入れ	被災者の方や原子力発電所の事故により避難している方(避難指示又は、屋内退避指示を受けた方)	200戸	400戸	13戸	13戸	住宅まちづくり部 居住企画課 企画推進G(4363)		
	雇用促進住宅での受入れ	被災者の方や原子力発電所の事故により避難している方(避難指示等に関わらず自主避難している方も含む)	—	860戸	8戸	0戸	住宅まちづくり部 居住企画課 管理調整G(3030)		
	市町営住宅での受入れ(大阪市、堺市を除く)	所管する市町村へお問い合わせください	169戸	254戸	29戸	22戸	住宅まちづくり部 居住企画課 公営指導G(3036)	決定戸数には内定含む	
大阪府営住宅での受入れ	同上	242戸	505戸	85戸	28戸	住宅まちづくり部 居住企画課 公営指導G(3036)	決定戸数には内定含む		
堺市営住宅での受入れ	同上	30戸	180戸	20戸	20戸	住宅まちづくり部 居住企画課 公営指導G(3036)	決定戸数には内定含む		
社会福祉施設への受入れ	被災により府内の社会福祉施設への入居が必要となる方	被災各県等からの依頼に応じ、個別に対応・調整	0人	0人	0人	0人	福祉部福祉総務課総務・企画G(2413)		
計			公営・公社住宅等計			204戸	121戸		
			社会福祉施設計			0人	0人		

生活	被災者生活相談窓口の設置	支 援 内 容	対象者	問い合わせ先	備 考
	被災者生活相談窓口の設置	様々な生活上の相談に応じる 開設時間：平日 午前9時から午後6時まで 開設場所：咲洲庁舎20階住宅経営室内（電話：06-6210-9290）	被災者の方等	災害等支援対策本部被災者受入班(4125・4126)	
生活	見舞金・貸付金の支給	[大阪府受入避難者支援見舞金] 1. 給付金額 1世帯当たり10万円（1回限り）。ただし、単身者については5万円。 2. 受付期間（予定） 平成23年3月29日（火曜日）から6月30日（木曜日） [生活福祉資金（緊急小口資金）貸付に関する特例措置] 1. 貸付金限度額 1世帯当たり原則10万円以内 2. 貸付の方法 (1)据置措置 貸付の日から1年以内 (2)償還期限 (1)の据置期間経過後2年以内 3. 受付期間（予定） 平成23年3月29日（火曜日）から当分の間 ※「大阪府受入避難者支援見舞金」及び「生活福祉資金貸付（緊急小口資金）」の受付窓口は、ともに避難された方がお住まいの市町村社会福祉協議会等となります。	災害救助法の適用となった地域の方	福祉部地域福祉推進室地域福祉課企画調整G(4505)	
医療・介護	医療機関への受入れ	医療機関の紹介等個別に対応	被災等により府内の医療機関への入院・通院が必須となる方	健康医療部健康医療総務課総務・企画G(2513)	
医療・介護	・介護サービス ・障がい福祉サービス	・介護保険サービス ・障がい福祉サービスの提供	サービスの対象となる被災者の方等で、府内に転居又は一時避難された方	福祉部高齢介護室介護支援課(4473) ・福祉部障がい福祉室障がい福祉企画課(4145)	
住宅情報等	民間住宅（無償）の情報登録の受付 民間住宅（有償）の情報提供	物件情報を受付中 事業者団体と府民からの民間賃貸住宅の情報を提供。加えて、大手前（一時避難所）に検索用PC3台と提供住宅リストを設置。	被災者の方等に住宅（無償）を提供していただける方 被災者の方等	住宅まちづくり部 居住企画課 民間住宅助成G(3033) 住宅まちづくり部建築振興課 住宅まちづくり部住宅建設指導G(3084)	
ホームステイ	受入れボランティアの募集	避難生活されている児童が府内で安定した生活を送れるようホームステイを受け入れていただける大阪府内のご家庭を募集 ※お問い合わせ先：「府民お問合せセンター」(#8001または 06-6910-8001)	一定期間以上児童を受け入れ、受入費用をご負担いただけるご家庭	福祉部子ども子育て支援課企画G(2448)	

支 援 内 容		対 象 者	問 い 合 わ せ 先	備 考
税	府税の申告・納付等	被災者の方等	総務部税務室税政課改課改革推進G(2175・2176)	
中小企業相談	特別相談窓口の開 設	被災された中小企業等	商工労働部商工労働総務課企画G(2617・2618)	
金融	お金の悩み相談室 の開設(再チャレ ンジ支援ブラザ)	被災され大阪府に避難されてきた方々	商工労働部貸金業対策課貸金業対策G(内4671・4672)	
教育	公立高等学校後期入学者選抜	被災により学力検査等を受検できなかった受験者	教育委員会高等学校課学事G(3420・3421)	
	高等学校への転入学等	被災により大阪府内に転居することとなったため、在籍校に通えない状況となった生徒	教育委員会高等学校課学事G(3420・3421) 府民文化部私学・大学課小中高振興G(4856・4857)	
	公立高等学校入学検定料及び入学料を免除	被災地の高等学校等から大阪府立高等学校に新・転入学をする生徒	教育委員会財務課課入G(3922・3926)	
就職	小中学校への転入学等	被災により大阪府内に転居することになった児童・生徒	教育委員会小中学校課学事G(3423)	
	就職支援窓口の設置 緊急雇用創出基金 事業の活用	被災者の方等 同上	商工労働部雇用推進室労政課企画G(2814) 商工労働部雇用推進室労政課特別基金G(2822)	

6 府民の皆様へのお知らせ

項目	内容	調査（検査）状況	現在の状況	問い合わせ先	備考
環境放射線測定	放射線モニタリング結果は大阪府立公衆衛生研究所のホームページから国への報告状況をご覧いただけます。 http://www.iph.pref.osaka.jp/sei-kan/hsen.html	文部科学省の委託により、常時、大気中の空間放射線量の測定を実施しています。	福島県における原子力発電所事故後も府内における空間放射線量は通常の値で推移しており、異常な値は計測されていません。 ・平成23年3月31日午後9時時点 0.042μSv/h（マイクログシーベルト/毎時） ・平成23年4月1日午前9時時点 0.043μSv/h（平成21年度測定値：0.04（最低値）～0.063（最高値）、0.043（平均値）μSv/h） ※本データは、1μGy/h（マイクログレイ毎時）=1μSv/h（マイクログシーベルト毎時）と換算して算出。（詳しくは、大阪府立公衆衛生研究所HP参照）	公衆衛生研究所 生活環境課 （代表）06-6972-1321	
放射線モニタリング	上水（蛇口水）のモニタリング	上水（蛇口水）について、毎日、水道蛇口から採取し、分析調査を行っています。	現在のところ、上水（蛇口水）から、放射性物質（ヨウ素、セシウム）は検出されていません。		
食品の安全性確保	定時降下物のモニタリング	定時降下物（雨水、粉じん等）について、毎日24時間、降水採取装置により採取し、分析調査を行っています。	現在のところ、定時降下物（雨、粉じん等）から、放射性物質（ヨウ素、セシウム）は検出されていません。	健康医療部食の安全推進課安全推進G（2563、2567）	
食品	福島県等で生産された野菜や原乳から、規制値を上回る放射性物質が検出されたことをうけ、国は次の食品について出荷制限を実施しています。 ◆出荷制限（4月1日9時現在） ・福島県：原乳、非結球性葉菜類・結球性葉菜類・アブラナ科の花蕾類・カブ（*） *例 ホウレンソウ、かき菜、キャベツ、小松菜、茎立菜（くきたちな） 恒夫冬菜（しのぶふゆな）、山東菜（さんとうな）、ちじれ菜、アブラナ、紅葉苣（こうさいたい）、プロッコリー、カブ、カリフラワー など ・茨城県：ホウレンソウ、かき菜、原乳、パセリ ・栃木県：ホウレンソウ、かき菜 ・群馬県：ホウレンソウ、かき菜	本府においては、出荷制限された農産物が府内で販売されないよう、3月24日より保健所等の食品衛生監視員による監視を強化しています。 詳細はホームページでも公表しています。 http://www.pref.osaka.jp/shokuhin/shimtyaku/hosyasen.html	3月24日～31日までに中央卸売市場をはじめ、スーパーマーケット、小売店の青果販売店など2,837件の立入調査を実施。 国による出荷制限の指示以降に出荷された農産物は確認されませんでした。		

【関西広域連合（和歌山県）】

○ 平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震に対する支援状況等について（第 21 報）

和歌山県の支援状況

【新着情報】

○ 現地事務所開設

本日、岩手県担当の大阪府と和歌山県が、関西広域連合岩手県現地事務所（大阪府・和歌山県現地支援本部）を開設しました。7名の職員（大阪府5名、和歌山県2名）を配置し、岩手県庁との調整、現地ニーズの把握等を行います。

○ 人的支援

・保健師の派遣

第5班 4月1日（金）～4月6日（水）

県保健師2人、県事務職員1人

※4月1日（金）夕刻引き継ぎ。4月2日（土）から現地活動（予定）

・和歌山県立医科大学附属病院の医師派遣

4月1日（金）～4月7日（木）

医師1名 福島県立医科大学へ派遣

○ 物的支援

・支援物資の提供

岩手県の要請に基づき支援物資（町、企業、個人から提供）を提供

（3月31日14時50分に搬出した支援物資は、4月1日10時00分に岩手県に到着）

○ 被害地支援・災害ボランティアバス運行

和歌山県・和歌山県災害ボランティアセンターでは、東日本大震災で被害を受けた地域に、ボランティアバスを運行します。

被災地にてボランティア活動を行っていただける方を別添資料のとおり募集します。

○ その他支援

・災害義援金 4月1日現在 158,506,045円

・和歌山県医師等災害ボランティア受付窓口

4月1日現在

登録10件（医師1、看護師7、薬剤師1、鍼灸師1）

・給水支援

3月31日 出発 美浜町 大船渡市 人員2名

4月 3日 出発予定 田辺市 大船渡市 人員2名

【現在の状況】

1 被災地支援（人的支援）

2 被災地支援（物的支援）

3 被災地支援（住宅の提供）

- 4 被災地支援（放射能の影響に関する健康相談窓口等）
- 5 被災地支援（市町村の支援状況）
- 6 被災地支援（被害地支援・災害ボランティアバス運行）
- 7 被災地支援（その他の支援）

1 和歌山県の被災地支援(人的支援:県職員)

支援項目	現在の派遣人員	派遣期間	派遣先	支援内容	備考・問い合わせ先	
総合	関西広域連合岩手県現地事務所(大阪府・和歌山県現地支援本部)	2人	3月14日～	岩手県	現地情報の収集	県危機管理局 073-441-2262
	岩手県支援物資集積場要員	4人	3月27日～	岩手県産業文化センター「アビオ」	物資の受入・出荷・車両誘導等	
健康医療関係	保健師等派遣	7人	3月16日～3月21日 4人 3月19日～3月25日 4人 (和歌山市職員) 3月24日～3月29日 4人 3月28日～4月2日 4人 (和歌山市職員) 4月1日～4月6日 3人	岩手県立山田高等学校	健康相談、健康チェック、避難所の衛生対策	
	こころのケアチーム派遣	4人	3月28日～4月16日 6チームによる交代制	岩手県釜石保健所	被災者への心のケア	
救助活動	和歌山県防災ヘリコプター派遣	—	3月12日～18日 1機	被災地全域	人命救助・医師等搬送	
災害調査	下水道災害復旧支援	4人 和歌山県2人 和歌山市2人	4月1日～4月8日	宮城県多賀城市(予定)	下水道管路被害調査	県下水道課 073-441-3200

和歌山県の被災地支援(人的支援・関係機関職員)

支援項目	現在の派遣人員	派遣期間	派遣先	支援内容	備考・問い合わせ先	
救助活動	緊急消防援助隊	0人	3月13日～3月20日 第1次106人 第2次101人	宮城県女川町 岩手県石巻市 他	人命救助	
医療援助	DMAT(災害派遣医療チーム)	0人	3月12日～15日 計3隊	岩手県花巻市内	医師、看護師等による 病院支援	県健康福祉部医務課 073-441-2604
健康医療関係	日赤和歌山支部医療救護班派遣	12人	3月11日～3月15日 10人 3月15日～3月19日 13人 3月19日～3月23日 11人 3月23日～3月27日 11人 3月27日～3月31日 11人 3月31日～4月5日 12人	岩手県山田町	医療支援	
	南和歌山医療センター医療救護班派遣	0人	3月16日～3月20日 6人	宮城県仙台市	医療支援	
	医療救護班(県立医大他)	8人	3月19日～3月23日 7人 (県立医科大学) 3月22日～3月26日 7人 (県立医科大学) 3月25日～3月29日 7人 (社会保険紀南病院) 3月28日～4月1日 4人 (県立医科大学) 3月31日～4月4日 4人 (県立医科大学)	岩手県山田町 豊間根中学校	医療支援	
	和歌山県立医科大学医師派遣	1人	3月20日～3月26日 1人 3月25日～3月30日 1人 4月1日～4月7日 1名	福島県立医科大学	医療活動	

2 和歌山県の被災地支援(物的支援)

搬送日	品目	数量	搬出先	備考	
H23.3.14	毛布	1,500 枚	福島県いわき市	・消防庁の要請 ・県備蓄物資	
	毛布	5,000 枚	福島県田村市		
H23.3.16	米類	30,000 食	岩手県滝沢村	・県備蓄物資 27,000食 ・市町村備蓄物資 3,000食 ・市町村備蓄物資(500ml)	
	水	10,000 本			
	毛布	1,500 枚		・民間企業からの提供	
	防災マット	300 枚			
	防災クッション	100 枚			・県保管物資
	ボックスティッシュ	3,180 箱			
	乳児用おむつ	4,000 枚			・市町村備蓄物資
	マスク	20,000 枚			
ブルーシート	500 枚	・県備蓄物資 300枚 ・市町村備蓄物資 200枚			
H23.3.18	飲料水	5,800 本	岩手県滝沢村	・県民、民間企業からの提供	
	カップ麺	3,500 個			
	ウェットティッシュ	2,300 個			
	使い捨てカイロ	25,000 個			
H23.3.21	飲料水	116,194 本	宮城県石巻市	・県民、民間企業からの提供	
	カップ麺	35,075 個	岩手県滝沢村		
	ウェットティッシュ	25,787 個			
	使い捨てカイロ	238,465 個			
	米類	21,480 食	宮城県石巻市	・市町村備蓄物資	
	乾パン	14,280 食			
	飲料水	5,272 本	岩手県滝沢村	・民間企業からの提供	
	調味梅干	5,000 パック			
線香	39 箱				
H23.3.25	木炭	100 箱	岩手県滝沢村	・民間企業からの提供	
	靴下	1,000 足			
	肌着(大人用)	200 着			
	男性用下着	8,100 枚			
	子供服(女児用)	8,800 着			
	ヤッケ	5,500 着			
	洗濯ばさみ	960 セット			
	線香	2,700 束			
生理用品	8 箱	・県民からの提供			
H23.3.31	醤油	1,200 本	岩手県滝沢村	・町からの提供	
	靴下	1,000 足			
	歯ブラシ	63,000 本		・民間企業からの提供	
	ご遺体用除菌消臭剤(パウダー)	800 個			
	ご遺体用除菌消臭剤(ゲル)	240 個			
	ご遺体用除菌消臭剤(スプレー)	8 本			
	紙コップ	1,825 個			
	靴	367 足			
	子ども用靴	354 足		・県民からの提供	
	子ども用長靴	52 足			
	トイレトペーパー	640 ロール			
	除菌スプレー(本体)	20 個			
	除菌スプレー(詰め替え用)	10 袋			
	大人用おむつ	650 枚			
	子ども用おむつ	2,400 枚			
	ベビーフード	64 食			
ベビーフード(飲料)	33 本				

問い合わせ先
福祉保健総務

3 和歌山県の被災地支援(住宅の提供について)

県営住宅、市営住宅等を提供(家賃、敷金、礼金は無償、共益費は有償)

支援内容		提供戸数	前日からの変動		現在の状況	
			入居戸数	受け入れ人数	入居戸数 (延べ入居戸数)	受け入れ人数 (延べ受け入れ人数)
県営住宅の提供		102			2 (2)	10 (10)
市営住宅等の 提供	和歌山市	50			3 (3)	12 (12)
	海南市	1				
	橋本市	3				
	御坊市	1				
	田辺市	12			1 (2)	3 (6)
	新宮市	15				
	紀美野町	2			1 (1)	3 (3)
	かつらぎ町	9				
	九度山町	5				
	高野町	4				
	湯浅町	2				
	日高川町	2				
	白浜町	2				
	上富田町	1				
	すさみ町	5				
	那智勝浦町	1				
串本町	2					
合計		219	0	0	7 (8)	28 (31)

※ 申し込み、問い合わせ先

県土整備部都市住宅局建築住宅課 073-441-3210

平成23年4月末までは、土曜日・日曜日・祝日も受付対応

(午前9時～午後5時45分)

4 被災地支援(放射能の影響に関する健康相談窓口等)

放射線の影響に関する健康相談窓口等について

健康福祉部 難病・感染症対策課

和歌山県では県環境衛生研究センター(和歌山市)において、文部科学省の委託を受けて空気中の放射線量の測定を行っています。

●県民の健康への影響について

・3月11日の震災発生以降、上記の測定値は平常値で推移しております。
県民の皆様の健康には影響はありませんので、冷静な対応をお願いします。

●放射線の影響に関する健康相談窓口

・福島原子力発電所周辺の避難・屋内退避圏内から和歌山県に避難して来られた方等、原子力発電所事故による健康への影響が心配な場合は下記で電話相談を受け付けています。

※ 避難・屋内退避圏外から来られた方は心配ありません。

相談窓口	電話番号	開設日時
和歌山市保健所	073-433-2261	月～金(祝日を除く) 8:30～17:15
岩出保健所	0736-61-0020	月～金(祝日を除く) 9:00～17:45
橋本保健所	0736-42-3210	
海南保健所	073-482-0600	
湯浅保健所	0737-64-1291	
御坊保健所	0738-22-3481	
田辺保健所	0739-26-7931	
新宮保健所	0735-21-9630	
新宮保健所串本支所	0735-72-0525	
県庁難病・感染症対策課 (人の健康に関すること)	073-441-2643	
県庁食品・生活衛生課 (食品の安全に関すること)	073-441-2624	

5 被災地支援(市町村の支援状況)

和歌山県内各市町村の東日本大震災に関する支援状況 平成23年4月1日 15時現在 NO.1

和歌山県東北地方太平洋沖地震被災地支援対策本部

県総務部危機管理局

※ 下線部が変更事項

市町村名	支援本部 設置状況	設置日	主な支援状況等
1 和歌山市	○	H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> 緊急消防援助隊 5隊20名 3/12 (3/20帰還) 給水支援 2t車1台 3/14出発 義援金の受付 3/14開始 救援物資提供 3/16 岩手県へ(食料、水他) 保健師等の派遣 3/19岩手県へ 医師、診療放射線技師等の派遣 3/19福島県へ
2 海南市	○	H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/15開始 緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) 給水支援 3t車 1台 救援物資提供 3/16岩手県へ(ブルーシート、マスク他) 3/18 アルファ米1,000食 看護師派遣 1名(岩手県) 3/30~4/2
3 橋本市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) 給水支援 4t車 1台 物資提供 3/18 水1.5L×720本
4 有田市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/15開始 緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) 物資提供 3/18 アルファ米 1,600食
5 御坊市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 緊急消防援助隊 10名 (3/20帰還) 物資提供3/18 アルファ米 1,000食 カンパン 720缶
6 田辺市	○	H23.3.18	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/15開始 緊急消防援助隊 28名(第1~2陣)(3/20帰還) 救援物資支援 茨城県笠間市 ブルーシート 3/12 岩手県一関市 毛布、飲料水他 3/13・3/14 県の救援物資集積への協力 クラッカー9,000食 3/18 茨城県笠間市 飲料水約10トン 3/25 茨城県高萩市 飲料水2.5トン、梅干し等 3/30
7 新宮市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) 給水支援 3台 宮城県名取市2台 茨城県高萩市1台 物資提供 水、非常食、毛布
8 紀の川市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 給水支援 2t車1台他 岩手県盛岡市へ3/18出発 3/18 救援物資支援 宮城県登米市へ おむつ、粉ミルク、懐中電灯他 3/22 福島県相馬市 救援物資(食料)支援
9 岩出市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/15開始 備蓄品の供出 3/18 アルファ米 2,500食、 カンパン 3,000缶、保存水 1,008本(500ml)
10 紀美野町	○	H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 給水支援 3t車1台 3/15午後出発 緊急消防援助隊 4名 3/12 (3/20帰還) 備蓄品の供出 3/19 アルファ米 500食他
11 かつらぎ町	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 県の救援物資集積への協力 町役場にて収集 カップ麺60箱、飲料水135箱、カイロ30箱 ウエットティッシュ14箱
12 九度山町	○	H23.3.17	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 備蓄品の供出 アルファ米 800食 保存水 2L 60本 救援物資 3/21発送 飲料水 2L 12,480本
13 高野町	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還)
14 湯浅町	○	H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 緊急消防援助隊 3名 救急車1台 (3/20帰還) 備蓄品の供出 アルファ米600食 救援物資 水2L 1200本
15 広川町	○	H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/15開始 町民へ救援物資受付の周知(放送) 3/18 町民からの救援物資受付 カイロ等 約2万個
16 有田川町	○	H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 緊急消防援助隊 10名 (3/20帰還) 救援物資 アルファ米 3,000食 水2L 1,134本

和歌山県内各市町村の東日本大震災に関する支援状況

NO.2

	市町村名	支援本部設置状況	設置日	主な支援状況等
17	美浜町	—	—	・義援金の受付 3/14開始 継続受付中 ・救援物資 3/17～18 第一次受付終了 ・3/18 アルファ米 1,000食 備蓄用パン 480食
18	日高町	—	—	・義援金の受付 3/15開始 ・衛星携帯電話の貸与 (日高広域消防、緊急消防援助隊) ・備蓄品の供出 カンパン 1,000個
19	由良町	検討中	—	・義援金の受付 3/14開始
20	印南町	○	H23.3.14	・義援金の受付 3/15開始
21	みなべ町	—	—	・義援金の受付 12箇所募金箱設置 ・救援物資 3/17 茨城県水戸市へ 全国梅サミット 災害応援協定による (紙おむつ、飲料水、梅干し他) ・3/17義援金の町専用口座開設 チラシ各戸配布(3/18) ・県の救援物資集積への協力 町役場駐車場にて収集 カップ麺、飲料水、カイロ等 約16,000個
22	日高川町	—	—	・義援金の受付 3/14開始
23	白浜町	○	H23.3.18	・義援金の受付 3/14開始 ・緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) ・町から物資支援 アルファ米200食、飲料水 720本等 ・白浜観光協会等の物資支援 飲料水100ケース
24	上富田町	○	H23.3.14	・義援金の受付 3/14開始 ・救援物資3/18出発岩手県宮古市へ(役場及び町民協力)
25	すさみ町	○	H23.3.15	・義援金の受付 3/15開始 ・緊急消防援助隊(白浜消防装備抛出)
26	那智勝浦町	—	—	・義援金の受付 3/14開始
27	太地町	○	H23.3.15	・義援金の受付 ・備蓄品の供出(3,000食分)
28	古座川町	—	—	・義援金の受付 3/15開始 ・古座川町からの義援金 ・救援物資 白米2.7t 岩手県宮古市 ・備蓄品の供出(アルファ米 500食)
29	北山村	—	—	・義援金の受付 準備中
30	串本町	○	H23.3.16	・義援金の受付 3/15開始 ・緊急消防援助隊 3名 (3/20帰還) ・救援物資 白米 17.5t (岩手県宮古市) ・備蓄品の供出 (岩手県宮古市) おむつ、粉ミルク他 ・救援物資 3/18 アルファ米 500食(岩手県へ)

6 和歌山県の被災地支援（被害地支援・災害ボランティアバス運行）

第1回東日本大震災による被災地支援・災害ボランティアバス運行について

和歌山県・和歌山県災害ボランティアセンターでは、東日本大震災で被害を受けた地に、ボランティアバスを運行します。

つきましては、被災地にてボランティア活動を行っていただける方を下記のとおり募りますので、お知らせします。

記

1. 募集日程 平成23年4月1日（金）～5日（火） 9:00～17:00
2. 申込方法 電話による申込み
3. 参加申込先 和歌山県社会福祉協議会・県災害ボランティアセンター
TEL 073-435-5220
4. 募集人数 20人
5. 運行内容
日 程 : 平成23年4月8日（金）～平成23年4月11日（月）
活動場所 : 岩手県大槌町内
宿泊先 : 湯の杜 ホテル志戸平（岩手県花巻市湯口字志戸平）
参加費用 : 現地費用（宿泊費・食料費等）
ボランティア保険加入掛金

※ 詳細については、別添資料のとおり

<問い合わせ先>
東北地方太平洋沖地震被災地支援対策本部
（県民生活課 NPO・県民活動推進室） 田代
TEL：073-441-2053（直通）

第1回 東日本大震災による被災地支援災害ボランティアバス運行実施要項

和歌山県・和歌山県災害ボランティアセンターでは、東日本大震災で大きな被害を受けた地域に、下記のとおりボランティアバスを運行します。

なお、被災地における受入可能な人数等の事情により、ご参加いただけないことがありますので、どうぞご承知おきください。

① 実施日程 平成23年4月8日（金）～4月11日（月）

出発時間：15：30

出発場所：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

当日連絡先：090-1026-6223（県社協・手崎）

※ バスは、15：00 JR和歌山駅東口（旧あぜくら前）を經由します。

※ 時間厳守で出発しますので、遅刻の場合は乗車できません。

行程（添乗は県・田代、県社協・手崎がいたします。）

和歌山発	1日目	15：30 出発	（バス車中泊）
現地到着	2日目	9：00 到着	終日活動（花巻市内宿泊施設）
	3日目	10：00 より	終日活動
現地出発		16：00 帰発	（バス車中泊）
和歌山到着	4日目	10：00 到着（予定）	

② 活動場所 岩手県大槌町内（大槌町災害ボランティアセンター）

③ 定員 20名

※ 申込については先着順とします。

※ なお、今後2回目、3回目と土日含む3泊4日程度運行予定ですので、定員を超えて申し込みのあった方については登録させていただき、次回募集の際に連絡させていただきます。

④ 参加費用 ○ 現地宿泊費用（個人負担、直前キャンセルの場合は料金を負担いただきます。）

● 湯の杜 ホテル志戸平（電気・水道・風呂あり、暖房なし）

〒025-0244 岩手県花巻市湯口字志戸平 Tel：0198-25-2011

お一人 6,450円、素泊まり、5・6人の相部屋了解ください。

○ ボランティア保険加入掛金（天災プラン490円～）

⑤ 主催 和歌山県

和歌山県社会福祉協議会・県災害ボランティアセンター

⑥ 参加申込連絡先

和歌山県社会福祉協議会・県災害ボランティアセンター

TEL:073-435-5220

- ※ 緊急募集ですので、今回は電話のみの受付とさせていただきます。
- ※ 氏名、性別、年齢、住所、緊急電話番号、ボランティア活動保険の加入の有無をお聞かせ下さい。ボランティア保険に未加入の場合は事前オリエンテーションにてご加入いただきますので、ご準備ください。(お釣りの無いようご用意ください。)
- ※ 今回は、第1回目運行まで募集期間が短く、交通の便も考慮し、県内の方に限らせていただきます。

⑦ 申込期間 4月1日(金) ～ 4月5日(火) 9:00 ～ 17:00

⑧ 活動内容 想定される活動内容の例(現地の指示に従うため、希望する活動の指定はできません)

- 自宅の泥かき、畳上げ、家具の搬出等
- 自宅の清掃一般、側溝等生活用水路の泥かき等

⑨ 服装・持ち物

服装や必携品の基本的なものをご紹介しますので参考にされて下さい。

a) 汚れてもいい、暖かい服装

ダウン、ケガ防止のための長袖・長ズボン

長靴(安全靴がベスト)、長靴を長時間履いているとくつ擦れを起しやすいため、厚手の靴下とセットで用意。

b) 帽子またはヘルメット、ゴーグル(コンタクトの人は必須)

マスク(できれば防塵マスク)、ゴム手袋・軍手(すべり止めがついた厚手のもの)

c) タオル、洗面用具、身の回りの生活用品

毛布(車中泊に必要)、着替え、雨合羽

d) 食べ物(3泊4日分、現地では調達しようと思わず自己完結をお願いします。)

飲み物(充分用意ください、こまめな水分補給、塩分が入ったスポーツドリンクなどが最適です。)アメ、氷砂糖、梅干しなど

e) 薬(常備薬のほか、目薬、キズバン、うがい薬などを持っていきましょう。)

保険証(コピー)など

⑩ その他 注意事項等

- 事前オリエンテーション（4月6日夜予定）を行いますので、必ずご出席いただき、当日に臨んでください。
なお、オリエンテーションの詳細については、後日連絡いたします。
- 準備として、十分に現地関連情報の確認を行ってください。
 - 岩手県社会福祉協議会
<http://www.iwate-shakyo.or.jp/>
 - 全国社会福祉協議会・全国ボランティア市民活動
<http://blog.goo.ne.jp/vc00000/>
- 被災地や仲間同士の負担にならないよう自己完結型の支援活動とします。
- バスで片道約18時間かかり、現地では丸2日間活動を行うため、健康に自信のある方の参加をお願いします。
- 少しでも体調に異変を感じた場合は、出発当日でも参加を見合わせて下さい。

7 和歌山県の被災地支援(その他の支援について)

項目	内容	現在の状況	問い合わせ先
災害義援金口座の開設	和歌山県が「東北地方太平洋沖地震災害義援金」を募集。	4月1日現在 158,506,045円	福祉保健総務課 電話 073-441-2472
東北地方太平洋沖地震被災地への災害義援金について	和歌山県議会で、全議員44名の負担により東北地方太平洋沖地震の被災者支援のため、義援金100万円を送ることを決定。		
和歌山県からの見舞金について	岩手県、宮城県及び福島県に対し、和歌山県から、それぞれ300万円の見舞金。3月29日、和歌山県東京事務所長が各県東京事務所長に目録を届ける。		
和歌山県医師等災害ボランティア受付窓口開設	3月18日(金)、ボランティアを行う意志のある医師等医療従事者から申し込みを受け付ける窓口等を設置。	4月1日現在 10件登録 (医師1名、看護師7名、薬剤師1名、鍼灸師1名)	医務課 電話 073-441-2603 (土日祝日を除く午前9時～午後5時45分) FAX 073-424-0425 (終日)
児童生徒の受け入れ	東北地方太平洋沖地震に被災し、和歌山県内に転居される方で、公立学校への入学・転入学・編入学を希望される児童生徒について、和歌山県教育委員会各担当窓口を設置。		教育委員会学校指導課 電話 073-441-3686 【小・中学校】 義務教育班 073-441-3705 【特別支援学校】 特別支援教室 073-441-3683 【高等学校】 高等教育班 073-441-3662
給水支援	和歌山市 給水車(2t)1台+支援車1台 人員4名	大船渡市で給水活動中	
	海南市 給水車(3t)1台+支援車1台 人員4名	大船渡市での給水活動を終了し帰還	
	新宮市 トラック+2tタンク積載を1台 人員2名	宮城県名取市で給水活動中	
	橋本市 給水車(4t)1台 人員2名	帰還	
	田辺市	茨城県高萩市へ出発し、17日に新宮市と引き継ぎを予定していたが延期	
	新宮市 給水車(4t)1台+支援車1台 人員5名	茨城県高萩市へ出発したが、活動を中止し帰還	
	岩出市 給水車(3t)1台+支援車1台 人員4名	岩手県盛岡市へ出発予定であったが、受け入れ体制が整うまで待機	
	紀の川市 トラック+2tタンク積載を1台 給水袋2,000袋 人員4名	宮城県登米市での給水活動を終了し帰還	
	紀美野町 給水車(3t)1台+支援車1台 人員4名	帰還	
	白浜町 人員2名 (3月29日出発)	和歌山市・海南市の給水車を使用し、大船渡市で給水活動中	
	美浜町 人員2名 (3月31日出発)	和歌山市・海南市の給水車を使用。。今後、県内市町村で順次交代しながら給水活動していく予定。	
	田辺市 人員2名(4月3日出発予定)	和歌山市・海南市の給水車を使用。。今後、県内市町村で順次交代しながら給水活動していく予定。	

【関西広域連合（徳島県）】

○ 「第1回被災地支援・チーム連絡会」の開催について

このことについて、次のとおり開催いたしますので、お知らせします。

1 日 時

平成23年4月1日（金） 午後1時00分から

2 場 所

県庁3階 特別会議室

3 出席者

- ・政策監 武市 修一
- ・政策企画総局長 佐野 正孝
- ・各チームリーダーほか

計14名出席予定

4 議 題

取組み

(1) 各チームの活動状況と当面の課題について

○ 東北地方太平洋沖地震にかかる救援物資の自衛隊による第5回目の航空機輸送について

東北地方太平洋沖地震で被害を受けた宮城県等への救援物資の輸送について、迅速かつ的確な輸送に資するため、自衛隊による第5回目の航空機輸送を行いますのでお知らせします。

1 日 時 平成23年4月1日(金) US-1A 9:50 徳島着陸 11:20 離陸予定
US-2 11:15 徳島着陸 12:45 離陸予定
MH-53E 9:45 徳島着陸 10:45 離陸予定
MH-53E 11:15 徳島着陸 12:15 離陸予定

2 場 所 海上自衛隊徳島教育航空群
(板野郡松茂町住吉字住吉開拓38番)

3 救援物資 県民から提供された衛生品及び県内企業(県内に工場を持つ企業を含む)から提供された食料品、医薬品、衛生品、衣服等

4 その他

(1) 海上自衛隊機によるこれまでの輸送

第1回 3月19日 食料品等
第2回 3月20日 医薬品、食料品等
第3回 3月22日 市町村の備蓄食糧
第4回 3月25日 衛生品、食料品

(2) 積込状況撮影希望の場合の連絡先

海上自衛隊徳島教育航空群 広報室長 (088-699-5111 内線3233)

○ 被災地からの入院患者の受入などに関する相談窓口の電話番号の変更について

概 要

平成23年4月1日より、相談業務を担当する看護師（1名）を配置したところから、東北地方太平洋沖地震の被災地からの入院患者の受入などに関する相談窓口の電話番号を変更します。

1 変更前

相談窓口設置場所	電話番号	設置時間
医療政策課	088-621-2151	平日 9:00～18:00

2 変更後

相談窓口設置場所	電話番号	設置時間
医療政策課	088-621- <u>2189</u>	平日 9:00～18:00

○ 東北地方太平洋沖地震における県議会からの義援金贈呈について

■趣 旨

平成23年3月11日に三陸沖等を震源とする地震が発生し、岩手県、宮城県、福島県等において大きな被害が発生したことに対し、徳島県議会は被災者救済のために義援金の募集を行っているが、被災地の一日も早い復旧を支援するため、3月31日までに集まった義援金を、都道府県議会の義援金取りまとめ窓口を設置している全国都道府県議会議長会へ贈呈する。

■贈呈先及び金額

全国都道府県議会議長会に対し、40万7,396円を贈呈

■義援金の募集方法

義援金のための振込口座を開設するとともに県議会棟2箇所に義援金の募金箱を設置

■贈呈方法

全国都道府県議会議長会が開設している義援金とりまとめ口座に振り込み

○ 「第1回災害ボランティア研修会」開催のお知らせ

災害ボランティア情報などをお知らせする情報配信サービス「大震災ボランティアだより」の配信に登録されている方や災害ボランティアに関心の高い方を対象に、次のとおり開催します。

- 1 日時 平成23年4月2日（土）13：30～（1時間程度）
- 2 場所 徳島県立防災センター 1階 視聴覚室
- 3 講師 徳島県立防災センター次長 小村 正
- 4 目的 災害ボランティアに必要な活動の内容や留意点、心構えなどの知識を身につけていただくため。
- 5 研修内容 (1)災害ボランティアについて
(2)災害時のボランティア参加の基本について
(3)災害ボランティアセンターについて
(4)被災地支援状況(DVD鑑賞)
(5)災害ボランティア活動について
- 6 参加者 60名（参加申込者）

○ 東北地方太平洋沖地震にかかる関西広域連合（徳島県）被災地支援（医療・保健）
チーム第7陣派遣壮行式について

3月11日に発生した、「東北地方太平洋沖地震」に被災した避難住民等の医療救護活動、健康相談活動、心のケア等を行うため、関西広域連合の一員として、次のとおり医療・保健分野における被災地支援チーム（第7陣）を派遣します。

出発にあたり、次のとおり壮行式を行います。

1 壮行式について

- (1) 日 時 平成23年4月3日（日）午前10時15分から
- (2) 場 所 県庁1階 正面玄関ホール
- (3) 出席者 武市 修一 徳島県政策監
被災地支援（医療・保健）チーム

2 被災地支援（医療・保健）チームの概要

現地連絡員	1名	宮城県現地連絡事務所での連絡業務に従事
保健師チーム	6名	避難所での健康相談などに従事
医療救護チーム	10名	医療救護所での巡回診療などに従事
災害支援ナース	2名	避難所での看護業務などに従事
心のケアチーム	4名	避難所での心のケアなどに従事
総勢	23名	

3 派遣場所

宮城県仙台市、石巻市及びその周辺

○ 東北地方太平洋沖地震にかかる教育分野での現地支援要員（第7陣）の派遣について

東北地方太平洋沖地震における被災者対策として、県教育委員会では、組織的な支援活動を行うため、3月19日から職員を宮城県に派遣し、石巻市及び女川町を中心に支援活動を行っているところです。

現地では、復興に向けた希望の光である「学校再開」の準備が始まり、新たな支援のニーズも生まれております。

本県では、引き続き現地支援要員を派遣し、「心のケア」や「特別な支援が必要な児童生徒のケア」を行うとともに、「学校再開」が早期に実現するよう取り組んでまいります。

◆現地支援要員

○派遣期間 平成23年4月3日（日）から4月7日（木）

○派遣要員 5名

チームリーダー	人権教育課	副課長	浦土井	邦人
班員	施設整備課	課長補佐	伊藤	正
班員	教職員課	管理主事	吉田	有礼
班員	特別支援教育課	指導主事	森影	三千世
班員	体育健康課	指導主事	京本	あい

○派遣先 宮城県石巻市、女川町の学校避難所等

◆派遣にあたり、次のとおり壮行式を行います。

平成23年4月3日（日） 午前7時00分
県庁西側 正面玄関

○ 東北地方太平洋沖地震に係る関西広域連合宮城チーム宮城県北部沿岸市町支援本部
派遣職員（第3陣）壮行式

このことについて、以下のとおり開催いたしますので、お知らせいたします。

- 1 日 時：平成23年4月2日（土）12時15分から
- 2 場 所：県庁西側 正面玄関前広場
- 3 出席者：政策監、派遣職員21名 ほか
- 4 派遣場所：気仙沼市、南三陸町、石巻市、女川町
※今回から新たに女川町へ6名を派遣することになります。
- 5 その他：気仙沼市（大島）へは、県内LED企業から提供いただいた、ソーラー式防
災防犯灯を持って行き、活用することとしています。

(参考)

徳島県災害救援物資「LED防災防犯灯」について

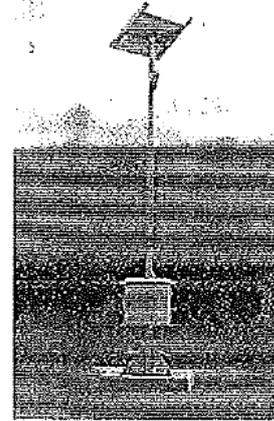
1 今回搬送するLED防災防犯灯

【商用電源設備がない場所への照明源】

①ソーラー式LED防災防犯灯 1基

- ・自動点灯自動消灯機能
- ・不日照稼働日数、約3日以上
- ・LED照明による省エネ効果(約6W)

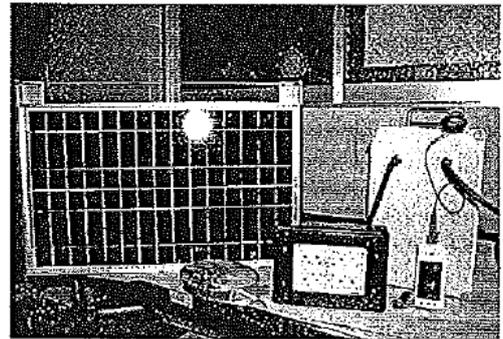
※提供元 (株)電信
徳島市川内町平石若宮121-1



②ソーラー式LED防災防犯灯(携帯電話充電機能付き) 3基

- ・自動点灯自動消灯機能
- ・不日照稼働日数、約5日
- ・携帯電話充電機能
(FOMA、au、iphone、MOVA対応)
- ・LED照明による省エネ効果(約20W)

※提供元 みの電子パーツ(株)
みの電子産業(株)
徳島市中吉野町2丁目18-2



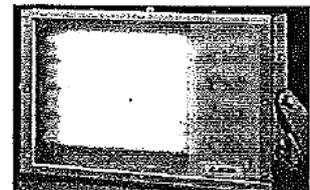
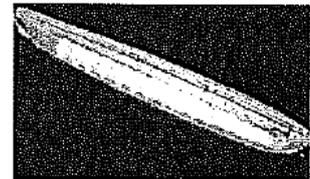
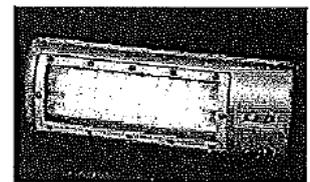
2 今後搬送予定のLED防災防犯灯

【商用電源が復旧した際の照明源】

①商用電源利用のLED照明(3種類) 11基

- ・AC100V/200V 共用
- ・商用電源からコンセントに接続点灯
- ・水銀灯100W程度の明るさで、電気代は最大1/7程度
- ・室内照明灯及び街路照明に活用

※提供元 サン電子工業(株)
板野郡藍住町富吉字穂実53-4



○ 緊急雇用創出事業を活用した被災者に対する雇用面での支援について

東北地方太平洋沖地震被災者の受入について、県を挙げて支援の取り組みを進めているところですが、本県へ移住・避難される皆様の雇用関係の支援につきましては、「とくしまジョブステーション」において、生活相談・就職相談・職業紹介等にワンストップで対応するとともに、離職者に対する雇用・就業機会を提供する「緊急雇用創出事業」を活用することにより対応しているところです。

この度、「緊急雇用創出事業」を積極的に活用することによる「被災者雇用受入可能枠」がまとまりましたので、お知らせします。

1 緊急雇用創出事業の被災者雇用受入可能枠

県が実施する事業	[最大] 約300人
市町村が実施する事業	[最大] 約100人(見込)
合計	[最大] 約400人(見込)

《参考》緊急雇用創出事業について

雇用失業情勢が厳しい中で、離職した失業者等に対して一時的な雇用・就業機会を創出するための事業を、県及び市町村で実施しています。

県又は市町村が直接雇用する事業と、委託先の民間企業等が雇用する事業があり、雇用期間は1年以内となっています。

2 被災者の雇用に関する相談窓口

(1) 雇用関係(全般)

「とくしまジョブステーション」において、就職相談や職業紹介等の雇用面の支援に加え、住宅入居や生活維持に関する相談等の生活面での支援も行っています。

- ・とくしまジョブステーション(徳島駅クレメントプラザ5階)
＜連絡先＞ 電話 (088) 625-3190

(2) 緊急雇用創出事業関係

- ・労働雇用政策局労働雇用課(雇用推進担当)
＜連絡先＞ 電話 (088) 621-2350

※ なお、被災者の受入のための支援チームを設置し、住宅・生活・教育等の相談全般に応じております。

- ・被災者の受入支援全般に関する相談窓口(政策企画総局)
＜連絡先＞ 電話 (088) 621-2131

○ 第1回 被災地支援・チーム連絡会の開催結果について

- 1 日 時：平成23年4月1日（金）13:00～13:30
- 2 場 所：県庁3階特別会議室
- 3 出席者：政策監、政策企画総局長、各チームリーダー等 計14名
- 4 協議事項
「各チームの活動状況と当面の取組みについて」

各チームから、これまでの活動状況と当面の取組みについて報告があった後、3月29日に関西広域連合委員会で決まった「震災関係の緊急提案」のうち、本県からの提案事項について、4月5日（火）に里見副知事が、「徳島発の政策提言」として国等に提言することを報告し、最後に政策監から指示等があった。

(1) チームからの報告内容

【被災者受入支援チーム】

- 4月1日時点の受入可能戸数は、公的住宅249戸に、民間住宅690戸、空き家27戸、合計966戸。
- 緊急雇用では、最大で400名程度が雇用可能。
- 児童のみの受入は、7市町村747名が受入可能、今後受入可能数は増加見込み。

【被災地応援派遣チーム】

- 第3陣は新たに女川町を支援するため、6名増やし21名で4月2日に出発。
- 宮城県での現地調整機能を更に高めるため、正課長以上の管理職を常駐。
- 3月11日以降、4月1日までに、延べ1,604人日を被災地に派遣。

【支援物資調整チーム】

- トラック6回、自衛隊機5回、フェリー1回の計12回、物資を輸送。
- 派遣チームからの情報を基に、JAグループ農業団体の協力を得て、4月3日に青果物をトラックで南三陸町に輸送する予定。

【ボランティア派遣調整チーム】

- 「大震災ボランティアだより」（週1回配信）の配信希望者が95名登録済み。
- 4月~~3~~日、防災センターで開催予定のボランティア研修、定員60人が満杯。

2

【被災地支援教育チーム】

- 学校再開に向けた取り組みが始まり、児童の心のケア等の支援に加え、文房具等をPTAなどに依頼し、4月4、5日に収集、分類し、6日に発送する予定。

【被災地支援復興チーム】

- 技術者の派遣が主な用務。派遣期間は6ヶ月程度。
- 土木、建築、電気、港湾、林業土木、農林土木の各分野合計23名が宮城県へ出発に向け待機中。4月5日には、技術者4～5名の先遣隊を派遣。

(2) 政策監指示

- 受入制度は既にできている。宮城県を含め東北三県に制度のPRをしつかりする。
- 派遣職員の心のケアが大事になる。派遣は市町村職員の協力もお願いする。
- 宮城県と同様に、岩手県、福島県の被害情報を関西広域連合を通じ入手、分析する。
- ボランティアチームはこれからが正念場、社会福祉協議会等と調整しながら対応する。
- 小中学校、高校を含め新学期への対応、私立大学など様々なケースにも対応する。
- 復興チームは、県土整備部、農林水産部、市町村とも連携を取り、体制を整える。
- 知事の指示事項のうち、徳島発の政策提言は4月5日に副知事が行う。それ以外の指示事項についても、スピーディーかつ柔軟な対応をする。

○ 「生鮮食料品」の支援輸送について

東北地方太平洋沖地震で被害を受け、本県が「被災地応援派遣チーム」を派遣している宮城県南三陸町に向け、支援物資の輸送車が次のとおり出発します。

お送りする支援物資は、県の協力要請に対して、6 J Aから無償で提供いただいた野菜などの「生鮮食料品」です。

- 1 日 時 平成23年4月3日（日）
17:00 出発式
17:30 トラック出発予定
- 2 場 所 J A徳島市予冷集出荷場
(徳島市不動町西町3丁目832)
- 3 輸送物資 J A徳島市、J A東とくしま、J A名西郡、J Aあなん、J A阿波町
J A麻植郡より提供いただいた
・ブロッコリー
・ほうれん草
・きゅうり
・イチゴ
・ミニトマト
・にんじん などの 生鮮食料品
- 4 予定配送先 歌津中学校
(宮城県南三陸町)

※出発に際し、政策監の出席のもと出発式を行います。

○ 「東北地方太平洋沖地震」を受けた津波対策に係る意見交換会の開催について

このことについて、沿岸9市町の防災担当課長と次の日程で意見交換会を開催します。

- 1 日 時 平成23年4月6日（水） 13時30分～
- 2 場 所 県庁10階 中会議室
- 3 内 容 (1) 「東北地方太平洋沖地震」に対する県・市町村の対応
(2) 沿岸市町における津波対策等
(3) 意見交換会（津波対策の課題など）
(4) その他

※別途、日を改めて沿岸市町の自主防災組織との意見交換会を開催する予定です。

○ 東日本大震災に関する徳島県の被災地支援の状況について

1. 本日の主な動き

(1) 人的支援

- ・宮城県北部沿岸市町支援本部派遣職員 第2陣（15名）
 - 1班（4名） 気仙沼市にて支援活動に従事。
 - 2班（8名） 南三陸町にて支援活動に従事。
 - 3班（3名） 石巻市にて支援活動に従事。
- ・広域緊急援助隊
 - 刑事部隊 第2陣（10名）
石巻市にて検視用務に従事。
 - 交通部隊 第2陣（7名）
福島県いわき市内において交通規制用務に従事。
 - 警備部隊 第2陣（44名）
気仙沼市において捜索・救助活動に従事
- ・緊急消防援助隊 航空部隊
宮城県へ出動していた消防防災ヘリ「うずしお」が任務を終え午後2時に帰隊。
- ・被災地支援（教育）チーム
 - 第5陣（5名）
女川町にて児童生徒の「心のケア」等の支援活動に従事。
 - 第6陣（4名）
午前7時からの壮行式の後，児童生徒の「心のケア」に加えて，「学校再開」等の支援を行う現地支援要員が，宮城県に向け出発。
- ・「被災地支援（医療・保健）チーム」
 - 第6陣
保健師チーム（6名）
仙台市若林区内避難所等（大和小学校，若林小学校，遠見塚小学校，家庭訪問）にて支援活動に従事。
 - 医療救護チーム（9名）
石巻市立万石浦中学校にて支援活動に従事。

災害支援ナース（2名）

石巻市遊楽館にて支援活動に従事。

心のケアチーム（4名）

仙台市若林区区内避難所等（大和小学校，若林小学校 他5カ所）
にて支援活動に従事。

- ・緊急雇用創出事業を活用した被災者に対する雇用面での支援
緊急雇用創出事業を積極的に活用することによる「被災者雇用受入可能枠」を取りまとめ。
（緊急雇用創出事業の被災者雇用受入可能枠）
県が実施する事業 [最大] 約300人
市町村が実施する事業 [最大] 約100人（見込）
合 計 [最大] 約400人（見込）
- ・「大震災ボランティアだより」第2報の配信
情報配信登録者に対して「大震災ボランティアだより」第2報を配信。

（2）物的支援

- ・宮城県への救援物資
県民から提供された衛生品及び県内企業（県内に工場を持つ企業を含む）から提供された食料品，医薬品，衛生品，衣服等（8.6t）を自衛隊機4機で輸送。
- ・被災地の救援物資収集（第2回目）
（収集期間）平成23年3月31日（木）～4月2日（土）
午前10時から午後4時まで
（収集場所）県立防災センター，南部総合県民局美波庁舎，
西部総合県民局美馬庁舎
- ・県議会からの義援金
3月31日までに集まった義援金を全国都道府県議会議長会へ贈呈。

（4）相談窓口

- ・被災地からの入院患者の受入などに関する相談窓口の電話番号変更
088-621-2151 → 088-621-2189

（5）会議・説明会等

- ・「第1回被災地支援・チーム連絡会」
被災地支援に関する各チーム（被災者受入支援チーム他 全8チーム）の連携を図り，今後の支援活動をより円滑に推進するため連絡会議を開催した。

(主な結果概要)

各チームから活動状況と当面の取組みについて報告の後、次のとおり政策監から指示があった。

- ・心のケアについての支援
- ・学校再開に向けた新学期への対応支援

など、市町村等との連携を図りながら、現地の要望に応じ、スピーディーで柔軟な対応を行うこと。

- ・「危機管理会議」

震災が及ぼす県内企業への影響及びその対策等について協議を行った。

(主な結果概要)

関係部局から震災が及ぼす県内企業への影響及びその対策等について報告の後、次のとおり政策監から指示があった。

- ・商工労働部，農林水産部，県土整備部が，関係企業・団体に対して行っている出前相談をスピーディに実施するとともに，随時中間報告を行い，庁内の情報共有を図ること
- ・国際的な風評被害について国として取り組むよう，政策提言することなど

(6) 環境放射能の調査結果

- ・空気中の放射線量の測定
前日午後5時から本日午後5時までの放射線量の測定値は，0.037～0.040 μ Sv/h であり，異常なし。
- ・定時降下物（ちり，ほこり，雨など）の分析（ヨウ素131，セシウム137）前日午前9時から本日午前9時までの降下物 検出されず。
- ・上水（蛇口水）の分析（ヨウ素131，セシウム137）
前日採取した上水 検出されず。

■県ホームページ

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011031500153/>

2. 明日の主な動き

(1) 人的支援

- ・宮城県北部沿岸市町支援本部派遣職員 第3陣（21名）
午後0時15分からの壮行式の後，県内企業から提供していただいた「ソーラー式LED防災防犯灯」を持って，宮城県に向け出発。
※ 気仙沼市，南三陸町，石巻市に加え，新たに女川町に6名派遣。

(2) 会議・説明会等

- ・第1回災害ボランティア研修会
午後1時30分から，県立防災センターにて，災害ボランティアに必要な活動の内容や留意点，心構え等の知識を身につけていただくための研修会を開催。

※ 「東日本大震災」に今後名称を統一します。

(参 考)

1 広域緊急援助隊の活動状況

派遣内容		派遣先	備 考
刑事部隊	10名	宮城県	第2次派遣
警備部隊	44名	宮城県	第2次派遣
交通部隊	7名	福島県	第2次派遣

2 緊急消防援助隊の派遣状況

派遣内容		派遣先	備 考
航空部隊	<u>0</u> 隊	宮城県	防災ヘリ「うずしお」

3 日本赤十字社の医療救護班の派遣

派遣内容		派遣先	備 考
医師	<u>0</u> 名	岩手県	医療救護班（日赤 第5班）
看護師	<u>0</u> 名	岩手県	医療救護班（日赤 第5班）
薬剤師	<u>0</u> 名	岩手県	医療救護班（日赤 第5班）
事務職	<u>0</u> 名	岩手県	医療救護班（日赤 第5班）

4 支援連絡要員の派遣

派遣内容		派遣先	備 考
支援連絡要員	4名	宮城県	<u>現地支援本部員</u>

5 支援人員の派遣

(1) 避難所での医療救護，健康対策

派遣内容		派遣先	備 考
保健師	4名	宮城県	被災地支援チーム（第 <u>6</u> 班）
事務職	2名	宮城県	被災地支援チーム（第 <u>6</u> 班）

(2) 心のケア

派遣内容		派遣先	備 考
医師	1名	宮城県	被災地支援チーム（第 <u>6</u> 班）
保健師	<u>0</u> 名	宮城県	被災地支援チーム（第5班）
<u>看護師</u>	<u>1</u> 名	<u>宮城県</u>	被災地支援チーム（第 <u>6</u> 班）
心理士	1名	宮城県	被災地支援チーム（第 <u>6</u> 班）
事務職	1名	宮城県	被災地支援チーム（第 <u>6</u> 班）

(3) 救護所等の医療支援

派遣内容		派遣先	備 考
医 師（救護所）	<u>3</u> 名	宮城県	被災地支援チーム（第 <u>6</u> 班）
看護師（救護所）	<u>5</u> 名	宮城県	被災地支援チーム（第 <u>6</u> 班）
薬剤師（救護所）	1名	宮城県	被災地支援チーム（第 <u>6</u> 班）
事務職（救護所）	2名	宮城県	被災地支援チーム（第 <u>6</u> 班）

(4) 宮城県北部沿岸市町支援本部

派遣内容	派遣先	備考
事務職等	15名	宮城県
		被災地応援派遣チーム(第2班)

(5) 教育対策

派遣内容	派遣先	備考
養護教諭等	<u>0</u> 名	宮城県
		被災地支援(教育)チーム(第4班)
養護教諭等	5名	宮城県
		被災地支援(教育)チーム(第5班)

※1～5までについては、前日からの変更箇所の下線を記入しています。

6 緊急支援物資の送付

送付内容	送付先	備考
大人用おむつ25,566枚、子供用おむつ5,495枚 子供服1,520枚、帽子141個、女性用下着7,964着 パンティストッキング71,205枚 イチゴジャム80個、カップみそ汁1,000食 カップスープ1,000食、お菓子2,400個 医薬品(冷湿布 60,000枚)(温湿布 12,000枚)(冷 [°] ラスタ [°] 30,000枚)計102,000枚 かぜペッタン(かぜ症状の改善)24,480枚	宮城県	自衛隊機

【関西広域連合（鳥取県）】

○ 東北地方太平洋沖地震被災者向け住宅相談受付状況(4月1日15時現在)

東北地方太平洋沖地震で被災された方に対する住宅支援として、本県では県営住宅等の提供を行っており、入居相談を受け付けております。

4月1日15時現在の住宅相談の受付状況は下記のとおりです。

なお、今後内容に変更がない日は、資料提供しないこととします。

記

被災者向け住宅相談受付状況（4月1日15時現在）

- 相談世帯数：33世帯(累計)

(受付概要)

区 分	4月1日（新規）	累 計
①既に被災地から鳥取県に一時避難され、被災者向けの公営住宅への入居について相談されている方	—	10世帯40名 （うち1世帯7名は3月25日に入居決定） （うち1世帯6名は3月30日に鳥取市内の県営住宅に入居茨城県から）
②被災地の避難所等に一時避難され、鳥取県内の被災者向けの公営住宅等への入居について相談されている方	—	8世帯 21名 （うち2世帯7名は3月25日に入居決定） <u>新規（うち1世帯4名は3月31日に米子市内の県営住宅に入居福島県から）</u>
③支援制度の問合せ又は支援の対象外となる方	—	15世帯
計	—	33世帯

(参 考)

住宅相談窓口 0857-26-7411

（午前8時30分から午後5時15分まで。）

○ 東北地方太平洋沖地震に係る保健師の派遣（第6班）

このたびの東北地方太平洋沖地震について、宮城県に保健師を交代で派遣しているところですが、協力の申出があった大山町の職員と合同で第6班を派遣します。

記

1 出発

(1) 日時 平成23年4月4日（月）午前10時

(2) 場所 鳥取県西部総合事務所福祉保健局（米子市東福原一丁目1-45）

2 派遣人員

(1) 保健師2名

大山町 主幹保健師 岸本良子（きしもと よしこ）

鳥取県西部総合事務所福祉保健局 健康支援課 保健師 余村洋子（よむら ようこ）

(2) 運転士2名

鳥取県西部総合事務所県土整備局 副車庫長 柴田孝志（しばた たかし）

現業技術員 中田一幸（なかだ かずゆき）

3 第6班の派遣期間

平成23年4月4日（月）～平成23年4月10日（日）

3月15日から派遣を開始しており、当面4月末まで交替で派遣する予定。

4 保健師の活動内容

宮城県石巻市内の被災者の健康相談、健康チェック、避難所の衛生対策

○ 東北地方太平洋沖地震「鳥取県災害ボランティア隊」出発式

石巻市で被災地支援活動を行う「鳥取県災害ボランティア隊」の派遣に当って、下記のとおり出発式を行います。

記

1 出発式

(1) 日 時 平成23年4月5日(火) 午前8時30分から

(2) 場 所 鳥取県庁第2庁舎玄関前(鳥取市東町)

(3) 出席者 鳥取県副知事 ^{ふじいきしん}藤井喜臣
社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 専務理事・事務局長 ^{こばやしひろゆき}小林裕幸
鳥取県災害ボランティア隊 隊長 ^{きしもとてるゆき}岸本照之(鳥取県社会福祉協議会福祉振興部長)

ほか

2 派遣の概要

(1) 派遣人員 鳥取県災害ボランティア隊 22名(予定)
(被災地ボランティア事前登録者で活動を希望した者、4月2日午後5時まで募集中)

(2) 派遣期間 平成23年4月5日(火)～4月9日(土) ※移動日含む
被災地へのボランティアバスを運行します。

(3) 活動場所 宮城県石巻市

(4) 活動内容 被災家屋等(石巻商店街)の片付け、清掃、泥だし等のボランティア

○ 宮城県で被災した鳥取県新規採用教員について

鳥取県では、県内市町村と協力して東北地方太平洋沖地震の被災地である宮城県石巻市に「鳥取県災害応援隊」を派遣しており、本日、その第2陣が帰還します。

その帰還バスに、下記のとおり、鳥取県新規採用教職員として採用され、現地で被災された方が乗車されていますのでお知らせします。

この方は、昨日（3/31）まで宮城県石巻市の中学校教員でしたが、本日付けで本県教員に採用された方であり、ご本人の希望により鳥取県への移動に帰還バスを提供したものです。

記

氏 名 猪 又 浩 平 (いのまた こうへい) さん
(30歳 若桜町出身)

宮城県での勤務校 宮城県石巻市立住吉中学校

鳥取県での勤務校 鳥取県境港市立第二中学校

帰還バスの到着 4月1日（金） 午後6時30分頃
(交通事情等により変動します)

そ の 他 ① 帰還バスの到着後、県教育長から辞令交付予定
(場所：教育委員室 県庁第2庁舎5階)

② ①の後、取材の場を設けます
(場所：災害対策本部室内 県庁第2庁舎3階)

※なお、ご本人は、長期間の被災地での対応等で、疲労されていることから、短時間での取材にご協力願います。

○ 県内の環境放射線量の状況 (3/31~4/1)

このことについて県内2箇所の観測地点の測定値は下記のとおりです。なお、湯梨浜町の測定値は衛生環境研究所のホームページで毎日公開しています。また、三朝町の測定値は環境防災Nネットですでに公開されています。

衛生環境研究所 (<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=3565>)

環境防災Nネット (www.bousai.ne.jp/)

当資料提供については、3月16日から毎日実施してきたところですが、通常と比べ大きな変動がみられないこと、またホームページにより測定値も公開していることから、今後は大きな変動があった場合に改めてお知らせすることとし、毎日の資料提供を終了することとします。

1 放射線量及び降下物、上水の放射能測定値

現在の放射線量は、従来と比べ大きな変動はありません。

また、全国のモニタリング状況は、文部科学省のホームページで公開されています。

文部科学省 (http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1303956.htm)

表1 放射線量の測定値

地点	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$) [※] (3/31 10:00から4/1 9:00まで)
湯梨浜町南谷 (衛生環境研究所)	0.063~0.064 最大値観測時間(3/31 14:00他)
三朝町木地山	0.038~0.047 最大値観測時間(4/1 8:00)

注) 実際の測定値自体は「Gy」という単位ですが、以下の参考のとおり「Sv」として記載しています。「 μ 」: マイクロ (1/1000,000の意味)

表2 降下物、上水の放射能測定値 (採取場所: 湯梨浜町南谷)

項目	測定値
降下物 (MBq/km ²)	検出されない (採取日: 3/30 9:00~3/31 9:00)
上水 (Bq/kg)	検出されない (採取日: 3/31 13:30)

2 その他参考情報

① 放射線の単位について

「Gy (グレイ)」と「Sv (シーベルト)」は次のとおり異なった概念ですが、観測値は近似していますので、そのまま読み替えても支障ありません。

(1) 吸収線量 [グレイ (Gy)]: 物体が放射線から受けた総エネルギー量

(2) 等価線量 [シーベルト (Sv)]: 放射線の人体への影響度

$\text{Sv (等価線量)} = \text{Gy (吸収線量)} \times (\text{放射線加重係数})$

・放射線加重係数: 放射線の種類で異なる。(1~20の値)

・通常の測定される放射線のほとんどはガンマ線であり、その放射線荷重係数は1

② 過去の測定値 (通常の状態の放射線量の目安) は次のとおりです。

衛生環境研究所 (H19.4からH22.3) 0.036~0.110 $\mu\text{Gy/h}$

三朝町木地山 (H19.4からH22.3) 0.013~0.104 $\mu\text{Gy/h}$

③ 放射線量について

環境中の放射線量は気象条件等により増減します。例えば、降水により大気中の放射性物質が降下することにより測定値は上昇します。一方、積雪がある場合には、地表からの放射線が遮られることにより低下します。